

中 啐啄同機

鶴岡市立藤島中学校
令和8年4月8日発行
教育精神「高志」
「啐啄同機」

入学おめでとう～学ぶ意味を考える～

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。藤島中学校への入学を、心から歓迎します。

中学校での「勉強」は、単に知識を身につけるためだけのものではありません。これからの人生を、自分で考え、判断し、行動していく力を育てるためのものです。授業の中で考えること、友達の意見を聞くこと、自分の考えを伝えること。その一つ一つが、「どう生きるか」を学ぶ大切な機会となります。



藤島中学校では、学校教育目標「自律・尊重・創造」のもと、主体的に学ぶ生徒の育成を目指しています。特に、「自分で決める」「自分で選ぶ」という経験を大切にしています。最初は戸惑うこともあるかもしれませんが、しかし、悩みながら考え、自分なりに答えを出していくことこそが、皆さんの力になります。

学校は「勉強させられる場所」ではなく、「自分を成長させる場所」です。一日一日の学びを大切にしてください。

進級おめでとう～捉え方が未来を変える～

2・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。

新しい学年、新しい学級での生活が始まりました。クラス替えによって、思い通りではないことや戸惑いを感じている人もいるかもしれません。ここで一つ、考えてみてください。

急いでいるときに、自転車で信号に差しかかりました。目の前で赤に変わりました。あなたならどう思いますか。

【A】「急いでいるのに…運が悪いなあ」

【B】「ここで止まれたから、次に向かう準備ができる。ラッキー！」

起きている出来事は同じです。しかし、その意味は自分の捉え方によって変わります。



中学校生活では、学級を自分で選ぶことはできません。けれども、その中でどう考え、どう行動するかは、自分で選ぶことができます。物事を前向きに捉えることは、単なる気持ちの問題ではありません。自分の行動を変え、周りとの関係をよりよいものにしていく力になります。

2年生は中堅として、3年生は最高学年として、学校を支える存在です。皆さん一人一人の在り方が、学級や学校の雰囲気をつくります。自分の捉え方と行動を大切にしながら、よりよい集団を創っていきましょう。

(文責:教頭)